

## 九州支部のうごき

### 1. 全国環境研協議会九州支部総会

第33回の支部総会が開催され、11機関、26名の出席があった。会議概要は次のとおりである。

- ・期 日：平成18年7月21日(金)
- ・場 所：長崎県長崎市 ホテルセントヒル長崎

#### (1) 支部長表彰

試験研究業務の推進に多年にわたって功績のあった次の4名の方が表彰された。

福岡県保健環境研究所	岩本 眞二
北九州市環境科学研究所	花田 喜文
熊本県保健環境科学研究所	今村 修
宮崎県衛生環境研究所	山田 音由記

#### (2) 議事

- ①平成17年度事業報告並びに決算報告について
- ②平成18年度事業計画並びに予算(案)について
- ③各県市提出照会事項について

##### 照会事項

- ・組織構成について
- ・生態・自然保護関係の研究部門の充実について
- ・随意契約の見直しについて
- ・調査研究費の確保について
- ・研究所の組織体制について
- ・熟練研究者の退職に伴う技術力の低下防止策について
- ・職員の勤務評価の実施状況について
- ・保健所との連携について
- ・水質汚濁防止法に基づく常時監視等の処理基準について
- ・大気汚染防止法の改正に基づく調査について

以上、照会事項10項目が提案され、それについて協議を行った。

また、各自治体とも非常に財政状況が厳しい状

況にあり、民間委託を含めた地方試験研究機関の今後のあり方について、活発に意見交換が行われた。

#### (3) その他

平成19年度役員について決定された。

支部長：鹿児島県

副支部長：沖縄県・大分県

### 2. 平成18年度環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議

・期 日：平成18年9月14日(木)

・場 所：福岡県北九州市戸畑区ウェルとばた  
検討委員、環境省、(財)日本環境衛生センター及び九州各県の担当者が出席して、調査結果の報告、特別講演及びディスカッションを行った。

#### 特別講演

「環境測定分析における土壌・底質中の重金属類測定について」

講師：東京大学新領域創成科学研究科

助教授 吉永 淳

### 3. 第32回九州衛生環境技術協議会

・期 日：平成18年10月12日(木)～13日(金)

・場 所：福岡県北九州市戸畑区ウェルとばた  
九州各県の担当者141名が出席して、2日間にわたり、大気、水質、生物、衛生化学、細菌、ウイルス及び情報処理の7つの分科会に分かれ、調査研究・事例発表、照会・協議、分科会討議について活発な意見交換を行うとともに、特別講演を行った。

#### 特別講演

「安全な食品の安定的な供給と消費」

講師：北海道大学大学院水産科学研究院

教授 一色 賢司

## 東海・近畿・北陸支部のうごき

当支部の平成18年度の主な専門部会及び研究会の開催は廃棄物専門部会が平成18年11月30日(木)に三重県四日市市のじばさん三重5階研修室で、東海地区環境試験研究機関会議・化学物質分科会が平成18年12月14日(木)に愛知県名古屋市の名古屋市環境科学研究所会議室で、開催された。

また、第21回支部研究会が平成19年2月15日(木)岐阜県岐阜市のグランヴェール岐阜で、有害化学物質部会が平成19年2月23日(金)兵庫県神戸市の兵庫県立健康環境科学研究所センター須磨庁舎で開催される予定ですので、これらの概要について紹介します(平成19年1月現在)。

### 1. 平成18年度東海・近畿・北陸支部廃棄物専門部会

開催日時 平成18年11月30日(木) 13:30~17:00

開催場所 じばさん三重 5階大研修室  
〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-18  
TEL: 059-353-8100  
FAX: 059-353-8104

にて開催されました。

会議の主な内容は、

#### (1) 研究発表会

兵庫県：鉍物油による環境汚染時のGC-MSを用いた汚染成分の分析事例

大阪市：ごみ分析、焼却工場の排水や排ガスについて

三重県：アルカリピッチの概観と分析手法

愛知県：一般廃棄物最終処分場再生事業にかかる環境影響調査について

神戸市：埋め立て処分場への降水の水文学的研究

富山県：産廃最終処分場侵出水のバイオアッセイについて

名古屋市：名古屋市における最近のゴミ処理状況について

京都府：京丹後市弥栄町中央簡易水道の「和田野浄水場」取水・給水の一時停止および応急対策の状況について

#### (2) 情報交換・各機関

兵庫県：鉍物油や化学物質等の漏洩事故により環境汚染が起こった場合の分析機関としての対応事例について

愛知県、三重県：リサイクル技術の開発、リサイクル製品の評価について等でした。

### 2. 平成18年度東海地区環境試験研究機関会議・化学物質分科会

開催日時 平成18年12月14日(木)13時30分~16時

会場は名古屋市環境科学研究所会議室で行われ、6研究機関から14名が参加して行われました。

主な内容は、

1. 開催機関挨拶
2. 出席者の自己紹介
3. 議題

(1)各県市の業務紹介

(2)研究発表・事例紹介

①LC/MS/MSを用いた化学物質分析法の開発(愛知県)

②下水処理場放流水中に含まれる化学物質(静岡県)

③活性炭を含む試料からのダイオキシン類抽出等の検討(名古屋市)

④固相吸着処理時に試料びんに添加された内標準物質の挙動(岐阜県)

等が行われ閉会しました。なお、次回の開催は、幹事が名古屋市で、開催機関が静岡市で行われます。

### 3. 第21回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部「支部研究会」(予定)

日時：平成19年2月15日(木)会場：グランヴェール岐山で開催されます。

主な内容は、

1. 開会あいさつ  
全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部長

2. 研究発表  
[水環境に関する事例]

座長 寺尾 宏

①地下水の硝酸性窒素について  
愛知県環境調査センター

水圏部 水野 勝

②大阪市内河川(東横堀・道頓堀川)における大腸菌群数と降雨の関係

大阪市立環境科学研究所

水環境課 北野 雅昭

③簡易UV計による水質評価の試み

三重県科学技術振興センター

保健環境研究部 資源循環研究課 加藤 進  
座長 村瀬 秀也

<b>■ 支 部 だ よ り ■</b>
----------------------

- ④ 汐川、伊川津干潟の底生生物と生存環境・観察ノート  
愛知県環境調査センター  
東三河支所 今泉 雅紀
- ⑤ 底生動物を用いた河川の水質評価と環境学習への利用  
和歌山県環境衛生研究センター  
環境研究部水質環境グループ 中山 真里
- ⑥ 内水面における漁業被害事例の分類結果について  
奈良県保健環境研究センター  
水環境担当 兎本 文昭
- ⑦ 分散染料中のダイオキシン類分析に係る検討  
福井県衛生環境研究センター  
環境部化学物質研究グループ 神戸 真暁  
[環境振動，大気環境に関する事例]  
座長 高原 康光
- ⑧ 新幹線鉄道による環境振動について  
愛知県環境調査センター  
生活環境部 田中 進
- ⑨ 京都市における1,3-ブタジエン，ベンゼン及びホルムアルデヒドの大気環境モニタリング結果  
京都市衛生公害研究所  
環境部門 山本 暁人
- ⑩ 黄砂中のイオン成分について  
岐阜県保健環境研究所  
環境科学部 大平 武俊  
[特別報告]
- ⑪ 「Relocatable Slide」によるアスベスト計数クロスチェック  
兵庫県立健康環境科学研究所  
大気環境部 坂本 美徳  
[揮発性有機化合物に関する事例]  
座長 角田 寛
- ⑫ 河川に影響を及ぼすVOC土壌・地下水汚染について  
名古屋市環境科学研究所  
水質部 朝日 教智
- ⑬ 愛知県揮発性有機化合物排出抑制対策推進協議会について  
愛知県環境調査センター  
大気圏部 藤田 誠
- ⑭ 固定発生源周辺地域における大気中揮発性有機化合物の濃度と環境リスク評価  
兵庫県立健康環境科学研究所  
安全科学部 岡田 泰史

- ⑮ VOCの分解装置の開発について  
岐阜県保健環境研究所  
環境科学部 中島 孝康

### 3. 総合討論

岐阜県保健環境研究所長による閉会のあいさつ  
なお、次期開催は大阪市立環境科学研究所で行われます。

## 4. 平成18年度全国環境研協議会近畿ブロック有害化学物質部会(予定)

- 開催日時 平成19年2月23日(金)  
午後1時30分～5時00分  
開催場所 兵庫県立健康環境科学研究所  
須磨庁舎 1階会議室  
〒654-0037  
神戸市須磨区行平町3-1-27  
TEL: 078-735-6918  
FAX: 078-735-7817

で開催されます。

会議の主な内容は、

- (1) 話題提供
- ① LC/MSを用いた環境分析(大阪市)
  - ② 環境水質試料のLC/MS分析(大阪府)
  - ③ イオン交換カラム-LC/MSを用いたグルホシネート等の極性化合物の分析例(神戸市)
  - ④ トビゲラ中のPCB濃度調査(京都府)
  - ⑤ 河川のダイオキシン類モニタリングと汚染起源寄与率の推定について(岐阜県)
  - ⑥ 琵琶湖・河川底質の環境ホルモン調査(滋賀県)
  - ⑦ 塩化第二鉄液中のダイオキシン(PCB)汚染(兵庫県)
  - ⑧ 環境試料中のクロルデン等分析(兵庫県)
- 等でした。
- (2) 意見交換・各機関
- ① 情報共有，技術継承について
  - ② 異常時における有害化学物質の検査体制
  - ③ 有害化学物質に対する新しい測定法の導入と測定効率化リスク評価などです。
- 以上が東海・近畿・北陸支部の最近の動向です。

(和歌山県環境衛生研究センター)